

血清データのみでの登録者(全体の約3分の2)は店晒し状態

実質ドナー登録者数は、5万人程度か?

日本骨髄バンクでは平成17年度にHLAタイピングが遺伝子型タイピングとなりこれに基づき、ドナーと患者との照合とその後HLAタイプネットシステムが変更され、約1年が経過した現状を特別諮問委員会であるHLA委員会が検証し、今後の課題と方策がまとめられ、9月20日に行われた財団の第16回常任理事会において答申が出されました。

その席上で、現在のコーディネイトシステムでは、検査方法が変更になった平成17年3月以降に登録された5万人のDNAデータのドナー登録者のみが繰り返し、繰り返し検査されているという現象が起きており、それ以前に登録された20万人の血清データのドナー登録者は置き去りにされていることが公表されました。

これは検索システムの優先順位として、まずDNAデータが一致している人が上位に上がることになっているため、その人達がいる限り、血清データがフルマッチで合っている、血清データでのドナー登録者は検索にかからない状況となっているためです。

データ管理を行っている日赤としてもこの現象を問題視しており、20万人の血清データのドナー登録者を呼び出して、検査、リタイピングする取り組みを行いたい考えではあるとのこと。ただし予算と人手もかかることであり、まだ具体的な話しまではいっていないそうです。

なお、財団でもDNA型リタイピングを積極的にを行い、DNAタイピングドナー数の割合を増加させることで、コーディネイト期間の大幅な短縮が

期待されるというHLA委員会の答申を受けて、今までドナー登録している人の検査の精度を上げること、登録時のHLA検査にHLA-C検査を追加する要望書を8月に厚生労働省に既に提出しました。ただし、厚生労働省からは、「既に予算審議に入っていたので、19年度の要望の中には入れられなかった。再度要望書は次年度要求に間に合う形で提出頂きたい」ということでした。

去る8月末、厚生労働省より財務省に対し、来年度予算の概算要求が示されました。

骨髄移植対策関連の総額は、今年度予算額より1億1千万円増額の、12億6千4百万円を計上しています。

財団関係新規分として、学生用普及啓発資料作成費に約180万円、骨髄バンクコーディネイトシステム保守管理経費に約2450万円が計上されました。

骨髄移植コーディネーター増員費用として、今年度予算に10% (約1千5百万円) 上乗せで約1億7千2百万円が、骨髄提供登録者フォローアップ事業費として、今年度予算のほぼ倍額、約1千1百万円が計上されています。

日本赤十字社分としては骨髄データバンク登録費がありますが、検査対象人員増加に対応するため、前年予算額に約5千3百万円を増額し、約7億3千1百万円が計上

骨髄バンク関連概算要求 提出される

これは新規登録者数が、今年度の3万3千人から、来年度は4万1千人に増えることを想定しているようです。

参考までに、さい帯血移植対策関連では、新規にさい帯血採取研修等事業費として約540万円が計上され、総額では今年度より6百万円増の、6億3千1百万円が要求されています。

これらはすべて、臓器移植対策室が、慎重な熟慮の上であげた項目、要求額だと思えますが、財務省には、是非、満額査定をお願いしたいところです。「これで、足りませんか? もっとつけまじょう!」というのは、ありえないでしょうね。

ちなみに、造血幹細胞移植対策費用(国庫負担分)の中で骨髄・さい帯血が占める割合は、ほぼ2:1となっています。

別表

	概算要求額	前年度予算額
骨髄移植対策	総額 1,264百万円	(1,163百万円)
<概要>		
(1)骨髄移植対策事業費(骨髄移植推進財団)	533,417千円	(484,538千円)
改: 骨髄移植コーディネーターの増員	172,080千円	(156,230千円)
新: 学生用普及啓発資料作成費	1,811千円	(0)
新: 骨髄バンクコーディネイトシステム保守管理経費	24,509千円	(0)
改: 骨髄提供登録者フォローアップ事業	11,303千円	(5,551千円)
(2)骨髄データバンク登録費(日本赤十字社)	731,410千円	(678,031千円)
(3)保健医療提供体制整備交付金(医政局指導課計上)(特殊病室施設)		

骨髄バンクの最新情報をお知らせする

●8月の月間ドナー登録者数は4029名
7月1日より、公共広告機構の骨髄バンク支援キャンペーン、本田美奈子さんの「白血病に、負けない。負けさせない。」のテレビCMや、ラジオでのPRが行われており、駅の掲示板、電車の中吊り広告などでも、キャンペーンが展開されています。また、ポスターに関するお問い合わせも多く、職場や学校などで掲示していただくなど、一般の方々の協力も増えています。

●10月は骨髄バンク推進月間
10月は国の定める「骨髄バンク推進月間」です。全国各地で、骨髄バンクの普及啓発を目的としたイベントや登録会などが行われます。さらに、10月から11月にかけて、白血病や骨髄移植を題材にしたミュージカルが展開されます。滋慶学園グループの「明日への扉」は、これまで12年にわたり82回の公演を行ってきました。今年は、10月12、13日(アクロス福岡シンフォニーホール)に始まり、10月17、18日(東京:文京シビックホール)、10月27~29日(NHK大阪ホール)、11月8~9日(愛知芸術文化センター)、11月

10日(兵庫県:伊丹市立文化会館のたみホール)と続きます。また、「フレンドシップ 友情」(劇団 絵生)は、これまで8年間で343回行われてきましたが、今年は10月18日(水)~29日(日)にかけて、ミュージカルとして装いも新たに、銀座博品館劇場で16公演が予定されています。そしてコメディ・ミュージカル「プレゼント」(ATNオフィス)が11月9日(木)~12日(日)にかけて六行会ホール(東京都品川区)において6回の公演が予定されています。

●関東地区事務局の移転について
関東地区事務局の移転先での業務開始は10月10日(火)を予定しています。

●日本血液学会総会・日本臨床血液学会総会 合同総会
第68回日本血液学会総会・第48回日本臨床血液学会総会 合同総会が10月6日(金)から10月8日(日)の3日間、福岡国際会議場、福岡サンパレス、マリンメッセ福岡で開催されます。内容は、

骨髄バンクNOW

パネルディスカッション、合同シンポジウム、学会シンポジウム、教育講演などが予定されています。詳しくは、学会本部(075-752-2844)、または開催概要(<http://www.congre.co.jp/jshisch/outline.html>)へお問い合わせ下さい。

また、合同開催記念市民シンポジウムが10月21日(土)午後2時から4時30分の予定で、西鉄ホールにて行われます。テーマは「骨髄バンク・さい帯血バンクの今そして明日」として、広く県民の方々に造血幹細胞移植の現状や今後の展望などの情報提供を行い、理解を深め、協力を求める内容になっています。お近くの方はぜひ、ご参加下さい

	7月	8月	現在数	累計数
ドナー登録者数	3,635	4,029	257,104	324,885
患者登録者数	184	199	3,315	21,197
骨髄移植例数	89	69	-	7,650
20歳未満ドナー	158	175	3,731	-
51歳以上ドナー	212*	149**	4,523***	-

注) 数値は速報値のため次月に訂正されることがあります。
*51歳以上ドナーの延長数 **51歳以上ドナーの新規登録数 ***17年9月~

全国協議会 ニュース

2006年10月1日発行 第172号

発行所
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク
推進連絡協議会
〒160-0005 東京都
新宿区愛住町23-1
Woody21-9階
TEL.(03)3356-8217
FAX.(03)3356-8637
発行責任者:品川 保弘
<http://www.marrow.or.jp/>
E-mail:office@marrow.or.jp

郵便振替口座
00150-4-15754
銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655

第64回 理事会報告

7、8月会計報告

〈協議事項〉

- 名義後援、承認案件
- 全国大会総括
- 通常総会・代表者会議総括
- 理事・事務局役員役割分担
- 大谷会長講演演説
- 資金獲得
- 役員選挙関連・選挙管理委員会委員委嘱
- ウェブ関連
- 情報誌、小冊子発行の費用拠出について
- 将来像・あり方委員会検討に

〈報告事項〉

- 「陽田チェック」中間報告
- 「白血病と言われたら」改訂版・編集委員会報告
- 情報誌9号進捗状況
- コンクール受賞作品取り扱い、その後
- 「ごあんない」(通称)増刷
- キティポケットティッシュ価格
- 岡山在住の医師からの協力依頼

● 東急電鉄本社訪問について
● 有給事務局員増員可否の件

ついて

● 「白血病フリーダイヤル」スポンサーのお願い

9月10日
全国骨髄バンク
推進連絡協議会事務局

三菱ウェルファーマ株式会社
<http://www.m-pharma.co.jp>

創薬力





各地のたより

各地のたよりを
写真を添えて
お寄せください。

宮城 雨の中での ファミリーゴルフ

宮城県でも9月18日の敬老の日に「やくらいゴルフ倶楽部」でファミリーゴルフが開催されました。台風13号の影響のため一日中の雨で、プレーが1時間半も遅れ大分待たされましたが、事故もなく、無事終了しました。体験ゴルフ部門の参加者は親子連れでしたので、クラブハウスの内を走り回る子供たちの元気な声が一瞬中あふれていました。コンペ部門への参加も親子ペアが多く、上位入賞者の親子連れはスコアがハイレベルで、子供をアゴゴルフに育てたいという親心も感じられました。ブルデンシャル生命や主催者の方々からは、骨髄バンク・「佐藤さち子基金」への支援協力を再三呼びかけていただきました。宮城のボランティアも4名参加し、物販販売やティッシュ・チラシ配布を行い、子供達や多くの皆さんと触れ合うことが出

来ました。朝6時半出発、夜8時帰宅というハードなボランティア活動でした。(小島)

愛媛 来場者1000名以上の 会場でのあやちゃん展

愛媛「骨髄バンク」を支援する会では、毎年9月上旬に(社)松山青年会議所主催の「まつやま市民シンポジウム」において、松山市保健所、赤十字血液センターと協力して、骨髄バンク休日ドナー登録会を実施しています。今年度は9月16日に愛媛県武道館を会場として実施しました。「まつやま市民シンポジウム」では二宮清純氏と乙武洋匡氏との対談があり、1000名以上の来場者でにぎわいました。武道館入口の一角に「あやちゃん」の贈り物展」の展示スペースを設け、松山青年会議所と愛媛「骨髄バンク」を支援する会のスタッフによるドナー登録の啓発活動を行いました。この日の登録者は67名でした。(武市)

奈良 プレーは出来なくても 大満足

9月3日三重県津市のグランシエロゴルフ倶楽部にてファミリーゴルフ大会が開催されました。今回は、三重・勇気の会が参加できないということで奈良の会から企画委員長である私、青山が参加しました。とはいっても私はブルデンシャル生命の社員であり、ボランティアで我々の社員が数十名参加していたので募金活動も非常に助かった次第です。俳優の神田正輝

さんにもゲストで参加いただき、パーティーも大変盛り上がりました。子供から大人まで楽しめるゴルフを通じて、プレーはできなくても参加者の笑顔で私も有意義な時を過ごす事ができ大変喜んでいきます。これからもブルデンシャル生命の社員として胸を張って骨髄バンクの推進をしていきます。(青山)

埼玉 「火火」上映会と 「いのちの輝き展」

9月23日秋分の日、入間市産業文化センターにて、入間市を拠点に活動する団体(共生ハーモニイ)いるま・NPO法人子育て

て広場あいくる・おしゃべりスタジオほっと・ホッ)で組織された上映実行委員会の主催により、「火火」の上映会が午前・午後の2回、おこなわれました。今回、実行委員会のメンバーが遠路滋賀へ日帰り交渉に出向いた結果、その熱意を汲んでいただいた神山さんが、上映の前の対談に出演してくださいました。自然な優しい野の花を飾ったステージで、対談者の後ろにあるスクリーンで、神山さんの作品と共に実行委員会の趣旨に賛同してくださった協賛者を紹介しました。

埼玉骨髄バンク推進連絡会は、ロビーにて「いのちの輝き展」開催と会員手作りの小物販売、秩父産の柚子の販売、PR等で協力をしました。映画が終了しても席に座ったまま、涙を

拭う姿を多く見受けました。病気の経験のあるご本人やご家族には過去の経験と重なり、直視できない場面もあったようです。

いのちの輝き展では、MAMOの書かれた文章を心に残すように見入っている方がいらして、感動を共有しました。このイベントを通じて、多くの方に骨髄バンクの重要性を訴えられたと思います。最後には、神山さんと会員の記念写真を撮影しました。(西澤)

大谷会長

走る

9月10日、福岡県飯塚市のイヅカコスモスコンにて弊社としては2度目となる骨髄バンク講演会&ドナー登録会を開催しました。講師に東ちづるさん(女優)、大谷貴子さん(全国骨髄バンク推進連絡協議会会長)、司会に宮崎明日香さん(日テレNews 24(経済キャスター))をお迎えし、600人を超える方々にご来場いただきました。

また、お足元の悪い中、ご来場いただいた皆様、ご協力いただきました九州骨髄バンク、福岡県赤十字血液センター、ナワタ消化器外科医院の方々に、本当にありがとうございました。

ごんには募金箱

その26

東京立川こぶしロータリークラブ (東京都立川市)

東京立川こぶしロータリークラブは東京多摩地区の中心の街立川に本年創立二十周年を迎えた会員数87名のクラブです。私がある日の例会で骨髄バンクのボランティア活動をさせていただいていることや、骨髄バンクの現状等を報告したところ、多くの会員から「ドナー登録したいがどうしたらよいか?」とか「年齢的にドナー登録ができないけれど何か協力できること

はありませんか?」という問い合わせがありました。それから間もなく募金箱は、毎週開催される例会場の受付に設置され、会員ならびに来訪者にご協力を頂いております。今後の課題は会員は元より外部の方々への募金PRです。

(東京立川こぶしRC 高田)



講演では、一人でも多くの患者さんを助けたい、「いのちのボランティア」に参加して欲しいと、東さん、大谷さんが呼びかけ、それに共鳴し、ドナー登録をしてくださった方々がなん



貴子氏 (福豊帝酸(株)佐野)

リレー紹介

ボランティアの仲間たち

能瀬昭司さん(新潟)の巻

退職後、趣味として何が自分に合うのか考えていた時、「市報にいがた」でオカリナ作りの講習会があることを知り、早速応募し、オカリナ作りを始めました。出来上がりの音を記録し、楽器として使用できることが出来たら、うれしくなり没頭しました。ミニオカリナは7cm位です。練習用のものを作っていました。練習用ですが、ある時、演奏仲間が骨髄バンクのボランティアをしていることを知り、私も何か応援したいと思

い、オカリナを作りながらの会に寄付しました。結構子供達に喜ばれ、よく売れたようです。作っても作ってもすぐ無くなり今までに500個以上作りました。愛・地球博にも70個作りお客様に色付けをして、吹いてもらい喜んでいました。最近では作る数も減りましたが、作れる間は頑張らせて色々な団体に寄付して行きたいと思っています。今は、地域公民館や学校等でオカリナ作りを指導しています。



心からのご寄付に 感謝申し上げます

8月21日~9月25日

㈱タクトコーポレーション	現金	30,000円
株式会社サクラホーム	現金	10,000円
株式会社ブレイブエンタテイメント	現金	140,000円
福豊帝酸株式会社	現金	324,446円
小樽ロータリークラブ	現金	100,000円
イオンマリンピア専門館	現金	8,900円
吉本哲也	現金	1,000円
塩谷 圭	現金	1,000円
竹島 香	現金	40,000円
鈴木純子	現金	2,680円
濱中矩子	現金	10,000円
小池昌義	現金	1,351円
こまごめの会90	現金	30,000円
全日空商事(株)通信販売部	現金	10,000円
楢垣直幸	切手	350円

●佐藤さち子患者支援基金

島 由佳	現金	5,000円
信照寺	現金	5,150円
牧野礼男	現金	4,500円
村上順子	現金	30,000円

●白血病患者支援金

サークルK楠村店	現金	6,697円
サークルK加茂中富店	現金	3,947円
株式会社シオンドラッグクレール店	現金	3,505円
岡山日々新聞社	現金	2,558円
国民宿舎おかやま桃太郎荘	現金	482円
マツダアンフィニ岡山倉敷店	現金	1,332円
薬局グリーン・ファーマシー	現金	15,745円
さかえ薬局	現金	1,610円

(敬称略)

活動資金の援助をお願いします

銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655
郵便振替口座
00150-4-15754
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク推進連絡協議会